



高崎 講二 九州大学 総合理工学研究院 名誉教授

三菱重工業株式会社ディーゼル部に勤務した後、九州大学に転職して現在に至る。1990年のドイツ Hannover 大学との共同研究を皮切りに、欧州の大学・企業とも深い交流があり、世界でも有数の船用燃料（重油から天然ガスまで）の研究者である。2009～2011年に公益社団法人日本マリンエンジニアリング学会・会長を務め、また、2012年度には国交省海事局「天然ガス燃料船の普及促進に向けた総合対策検討委員会」の委員長を務めた。